

C型非代償性肝硬変エプクルーサ療法を受けられる患者さまへ

患者様用

患者氏名： 様		受持医：		受持看護師：							
月日(日時)	入院日(/)	入院2～3日目(/ ～)	入院4日目(/)	入院5～6日目(/ ～)	入院7～8日目	入院9日目(退院日)					
治療経過	入院日	治療(内服)1～2日目	治療(内服)3日目	治療(内服)4～5日目	治療(内服)6～7日目	治療(内服)8日目					
達成目標	◆退院基準を理解し、同意する ◆治療について理解できる ◆治療の必要性が理解でき、同意する	◆副作用が軽度で治療が継続できる	◆薬剤の必要性が理解でき、確実な内服ができる	◆内服薬の自己管理ができる		【退院基準】 ◆外来でのエプクルーサ療法に移行できる ◆内服の必要性が理解でき自己管理できる ◆退院後の治療や注意事項が理解できる					
治療 薬 剤 (点滴・内服)		・エプクルーサ錠を朝1回1錠朝食後に服用します ・看護師が内服配薬します	・看護師がエプクルーサ錠を配薬します ・入院中のエプクルーサ錠を渡します	・エプクルーサ錠を自己管理していただきます ・看護師が残数確認を行います	・エプクルーサ錠自己管理していただきます ・看護師が残数確認を行います	・退院時処方箋を渡します					
検査	血液検査・尿検査があります 胸部のエックス線検査があります 体重を測ります	入院3日目に血液検査があります		入院5日目に血液検査があります	入院8日目に体重を測ります	入院9日に血液検査があります					
活動 安静度	制限はありません										
栄養(食事)	入院中は治療食です 栄養士から栄養指導があります				栄養士から栄養指導があります						
清潔	制限ありません										
排泄	制限ありません										
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持医が治療計画について説明いたします 看護師が入院生活についてとエプクルーサ錠の副作用について説明いたします 栄養士が食事について説明いたします 薬剤師がエプクルーサ錠について説明いたします  入院費に関するご心配がありましたらお早めに 医事課6番窓口にご相談ください ～患者様メモ～ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>医療費助成</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>高額療養費</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	医療費助成	有	無	高額療養費			治療中、下記の副作用が出現することがあります ・貧血(めまい、ふらつき、息切れなど) ・倦怠感 ・かゆみや皮疹などの皮膚症状 副作用と思われる症状が出た時や薬を飲み忘れた時は自己で判断せず、早めに医療者へお知らせ下さい 	★内服を飲み忘れた時の対応 飲み忘れに気づいた場合は、その日の内であれば内服してかまいません ただし、日付を超えて気づいた場合は1回とばして次の時間に1回分を飲んでください 服用量を間違え、体に異常を感じた場合はすぐに担当の医師に連絡してください また、異常がない場合でも、次回受診時に担当の医師にお伝えください 指定された外来受診日に消化器科外来を受診して下さい	薬剤師が内服薬について説明いたします 	指定された外来受診日に消化器科外来を受診して下さい 退院後、別紙(一緒に内服してはいけない薬剤)に書いてある内服薬が処方されたときには主治医へお知らせください 【肝臓病教室について】 毎年6月～翌年3月の毎月第3金曜日(15時30分～16時45分)肝臓病教室を行っています。詳細は肝臓病教室案内をご参照下さい ～患者様メモ～
医療費助成	有	無									
高額療養費											

注 入院期間については現時点で予想される期間です

国立病院機構熊本医療センター 消化器内科 2020年9月作成